

2020 年度経済学部 FD 活動報告

経済学部 小塚匡文

経済学部では、全学 FD 活動と連携をはかりながら FD 活動を行っている。これらの FD 活動では、学生からの授業評価および学生との直接的な意見交換等をもとに、教員相互による学び合いを進めることによって、学部全体の教育活動の水準を引き上げることを目的としている。

2020 年度の経済学部における具体的な FD 活動は以下の通りである。

1. 学生 FD ミーティング

経済学部の各ゼミから学生 12 名と 3 名の FD 委員の教員が参加して、学生 FD ミーティングを 2020 年 3 月 2 日(火)に開催した。このミーティングは毎年開催しており、学生から授業・施設および学生生活全般に関する改善点を提案してもらうことで、授業・学習環境の改善策を考えることを目的としている。それらに加え今年度は、遠隔授業についての意見も伺っている。具体的には、遠隔授業の 2 つの形態、すなわちオンデマンド式とリアルタイム式の講義のそれぞれについて、学生が感じたメリット・デメリットについて、である。学生たちが日ごろの大学生活や授業内容についてどのように感じ、受け止めているのかを直に聞くと同時に、学生同士の交流の機会となっている。なお今年度は、社会状況を勘案して、Microsoft Teams を用いた遠隔式の会議で開催している。

今年度の学生 FD ミーティングでも多くの意見が出された。授業・履修関係では、対面式講義では指定席を導入してほしい、履修ガイダンスを繰り返し確認できるようにする、もしくは相談対応をしてほしい、レポート試験の評価を可視化してほしい、といった意見が出された。施設関連では、学内やバス停に座れるスペースが欲しい、密を回避するためにもバス（特に茨木・大学間）を増便してほしい、といった意見が出された。遠隔授業については、リアルタイム・オンデマンドそれぞれにメリット・デメリットがあるが、ゼミに関しては対面式の方が望ましいとする意見が多く出された。そして対面式講義の再開に際して、大教室の感染防止対策を取ってほしい、クラスター発生時の対応について基準を決めて周知してほしい、完全な対面式ではなくそれ以外の受講方式も認めてほしい、授業交代時にエレベーターが密になるのでその対策を、といった意見が寄せられた。その他、部活動は人間関係形成に重要なので、これに関する情報（活動の有無など）を発信してほしいという意見も出された。

写真:学生 FD ミーティングの様子

(Microsoft Teams のスクリーンショット／一部、加工しています)



2. FD 勉強会

2020年3月15日(月)に、経済学部 FD 勉強会を実施した。今年度のテーマは次の通りである。

- (1)学生 FD ミーティングで寄せられた学生からの意見・要望の共有とディスカッション
- (2)事前に経済学部教員を対象に実施した遠隔授業でのゼミ運営に関するアンケート調査の結果報告とそれらに基づくディスカッション

(1)に関する意見・要望のうち、「学生向けのポータルメールは、様々な種類のもが多く届くため、件名の冒頭に連絡事項のカテゴリー（試験関係、履修関係など）を明記してほしい」などポータルメールについての要望は、教務課から勉強会に出席していた職員に伝え、改善をお願いした。(2)については、Microsoft Teams の「ブレイクアウトルーム」の使い方について、熟知している教員から説明がなされた。また、多くの先生が困難を感じた点として「遠隔授業・ゼミでカメラを着る学生が多い」「学生の様子がわからない」を挙げていたが、勉強会中ではその対策は見出せなかった。今後の講義を通して、各自工夫をしていくこととした。

3. 授業アンケートにもとづく教員表彰

授業アンケート結果の集計にもとづき、学生からの評価が高かった教員とその担当科目を、前期・後期開講の必修・選択科目からそれぞれ1つずつ、計4科目を選出し、3月15日のFD勉強会内で表彰を行った。

WEB 授業アンケートの回収率を高めるという課題を意識すべきではあるが、今年度はほぼすべての講義が遠隔式であったために回答率が低いことを考慮し、表彰の対象を

- 回答者数 10 人以上の科目
- 前期・後期のそれぞれの必修科目・選択科目（表彰対象者は最大 4 名）
- 経済学部専任教員

の条件を満たしたものとし、授業アンケートの設問 Q2、Q3、Q4、Q5 の点数の平均値が最も高い講義担当者を表彰対象者とし、3 名の教員を選出した。

写真: FD 勉強会の様子(1152 教室)

